

【感謝の言葉『ありがとう』の練習方法と具体的な使い方】

感謝の気持ちは、きちんと言葉に出して伝えることが大切です。

面と向かって挨拶する事は大切ですが、自分の家に居て陰ながらの挨拶を行なっても、と
5 っても大きな効果が出るのです。

**大事なのは、目の前にその相手が居ると思って、“〇〇さん、いつもありがとう。”と言う
ことです。**

言葉に出すと、波動となって相手の魂に伝わりますから、自然に好感を持って貰えます。
10

下記の〇〇さん の所に、ご主人又は奥さんの名前やお子さんの名前、お父さんお母さん、お祖父ちゃんお祖母ちゃん、叔父さん（伯父さん）叔母さん（伯母さん）、兄弟の名前、先生、ご近所の方、会社の上司、同僚、後輩、お世話になっている方々……虐める人の名前…
…等々の名前を入れて、声に出して呼び掛けましょう。

15
1 人の名前で6通りの言い方を練習しましょう。

お子さんの名前を言う時と、二人が組になっている方のお名前を言う時は、
〈太郎さん花子さん ありがとう。〉〈お父さんお母さんありがとう。〉のように、複数の方の
20 お名前を続けて言います。

〇〇さん ありがとう。

25 〇〇さん いつもありがとう。

〇〇さん いつも本当にありがとう。

30 〇〇さん ありがとうございます。

〇〇さん いつもありがとうございます。

35 〇〇さん いつも本当にありがとうございます。

40 前もって対象の名前を書き出しておいて、
1日に10人くらい言ってみましょう！